



会長挨拶



一般社団法人 大阪府作業療法士会 会長 関本 充史

平成30年6月4日に開催されました大阪府作業療法士会総会・役員改選により、7代目会長職拝命致しました関本充史でございます。新たに5名の理事、2名の監事へ就任頂き、部局によって代表交代も行われました。新たな体制で臨んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します。今回で理事・監事・各部局代表を退任された方々、本当にありがとうございました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

当士会ホームページ会長挨拶に記載した通り、地域包括ケアシステムではリハビリテーション職種の活用が謳われ、求められる役割を達成できるよう目指していきます。さまざまな領域、子どもから高齢者まで、幅広い分野において、対象者の生活課題・生活機能に着目し、予防・改善・維持の観点から作業療法を提供できるよう人財確保、人財育成を目指していきます。また、多職能団体とも協業していく事が、今後より一層必要となります。地域包括ケアシステムにおいては、市町村中心での活動が中心となっているので、地域局の各ブロックの方々にはより一層ご協力頂くこととなりますが、どうぞよろしくお願い致します。職能団体としての内部強化だけでなく、渉外活動も強化し新たな取り組みや体制づくりをしていきますので、今後とも、当士会活動にご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



第33回大阪府作業療法学会に是非参加してください。

藍野大学作業療法学科
中西 英一

みなさん。こんにちは。

この文章に目を留めていただきありがとうございます。

もうみなさんをご存知だと思いますが、12月2日(日)に藍野大学において、第33回大阪府作業療法学会が開催されます。

このニュースが出る頃には、開催まであと数ヶ月と迫ってきています。もう予定は空けていただいているでしょうか?そして、みなさんはもう一般演題やサポート演題、ポスター発表あるいは「福祉用具 こんなんでしょうか! GP」のいずれかにエントリーして頂けたでしょうか?

この学会では「Eureka #OTばっかレー」をテーマに府民公開講座を3つ行います。また、作業療法の教育講演として5つの講演(実技も含む)を用意しております。これはかなり盛りだくさんです。中でも、府民公開講座の対談では、「宗教

学と作業療法学の出会い。生きる意味をどう捉えるか?というテーマで中村春基先生(日本作業療法士協会会長)と釈徹宗先生(相愛大学人文学部教授・如来寺住職)の対談が行われます。学と学との面白い対話が拝聴できると思います。

12月2日に様々な人が集まり対話することを通して、私たちが当たり前と考えている常識を少し疑い新たな視点が発見できることが私たち学会実行委員会の何よりの喜びです。そして、藍野ホールを満員にしましょう。それが最終的な学会長の夢です。

それではみなさん、第33回大阪府作業療法学会の参加を藍野大学でお待ちしています。最後まで読んでくれてありがとうございます!